

令和8年度、田尻町の当初予算が初めて100億を越しました！
総額113億3,951万円（一般会計75億1,000万円）の積極予算です。
駅前道路の拡幅事業や一貫教育施設建設に向けた用地買収が着々と進む中、総合保健福祉センターの大規模改修など町の施設の維持管理を着実にやっていることが重なり、今までにない予算規模となりました。町政を前へ進めます。



報告① 議会と共有「駅上広場に公共施設を」

防災文化センター建設の検討のために、昨年、防災についての勉強会（議員全員と町幹部職員が出席）を2度開催し、その後の話し合いの結果、駅上地区に何らかの公共施設が必要であるとの共通認識を持つことができました。その結果、令和8・9年度で策定される「田尻町都市計画マスタープラン」、「田尻町立地適正化計画」にそのことが反映され、まちづくりの方針となります。

報告② 防災・文化センター建設の検討が再始動しました！



総合文化センター鳥瞰図(構想)

それらの結果を長期財政計画に反映させ、本町の行財政運営上問題がないことも確認します。

これまで当事業については、議会において様々な意見が出ました。それらについても検証し、議会等での審議を確かなものにしていきます。そして、現計画が住民の皆さまのための最善策であることを再確認し、町民の皆さまに今年中に成果報告を行います。

防災文化センター建設事業については、前回の町長選挙で進めるべき”との民意が反映されましたが、未だ議会において賛同を得ていません。民主主義の根幹である選挙の結果を尊重しない理解しがたい事象です。

報告①を経て、3月議会において8年度当初予算に「防災文化センター基本計画課題整理業務委託料」を上程しました。共産党議員から削除する修正案が上程されましたが、審議の結果、可決されました。この業務では次の検証を行い、議会の理解を得た後、基本設計へとつなげてまいります。

- 1.これまで定めた施設の内容（生涯学習機能、防災機能など）を具体化します。
- 2.建設資材や人件費が高騰している昨今の状況を反映させ建設コストや維持管理コストを点検します。



総合文化センターホールイメージ（熊取町文化ホール）

これまでの議会で審議が進まなかった、その根本的な原因は、反対理由が不明瞭であったこと、その検証がされてこなかったこと、また、行政にも原因があるとすれば、それは財政運営上の説明が十分ではなかったことです。

8年度のこの業務については、これらの課題を解消します。山本かずお後援会の皆さまには、どうか、この業務（秋頃に中間報告します）にご注目いただいて、その成果内容をしっかりとご理解いただきたいと思っています。

耐用年数が近づいている小中学校校舎については、たじりエンゼル（こども園）と合築して、現小中学校用地に建て替えることに決定いたしました。議会でも承認をいただき今年度基本計画の策定に着手します。合築に決めた理由は次のとおりです。

①

0～15歳の一貫した学びと切れ目のない発達支援が可能になり、理想的な一貫教育が展開できる



一つ屋根の下で、異年齢交流しながら生活し勉強する環境が出来ます。このことによって、思いやりや自立精神、自己肯定感の育成につながります。文科省が提唱する“非認知能力”が大きく育まれます。

低学年の子は高学年の児童に憧れ、高学年の児童、生徒は小さい幼児と日々触れながら生活することで優しさや思いやりの心が成長します。そして、教師、保育教諭などすべてのスタッフがこどもの様子を日々連携・共有しながらこどもを育てられる環境が整います。

②

防災の観点／避難動線・危機対応を一元化でき、こどもの安全性が高まる／避難所の機能が高まる

現在のこども園の一部は南海トラフ地震の津波浸水区域にあります。小中学校と一体化（＝移設）することで、この大きな問題が解決します。4階建ての校舎になりますので、上の階への移動だけで安全が確保されます。

③

運営・リスク回避の観点／こども園大改修時に必要となる仮設園舎での保育を回避できる 給食提供の中断や代替対応といった課題を軽減できる

田尻町には、こども園が一園しかありません。私立のこども園もありません。他の施設に協力を求めることはできません。数年後に控えている大規模修理をこの環境で行うとなると、町内の別の場所に仮設園舎を建設して保育を行わざるを得ません。

200名を越す園児に問題のない保育環境を整えるには、大掛かりな事業となり、給食の運営は衛生上非常に困難なことであったことがわかりました。小中学校と一体化して整備することで、これらの問題を回避することができます。

④

こども施策推進の観点／0～2歳児保育料無償化など、こども施策を効率的に展開できる

小中学校と一体化して建設することで、保育室が増え、0～2歳児保育料の無償化による園児数の増や保育ニーズの多様化にも応えることができます。

一貫教育施設完成後、現在のこども園舎の半分は、学童保育として有効活用します。今はない学童保育用の運動場が確保できます。残りの半分は、社会ニーズを踏まえ、直営又は民間活用を図ります。



5

こども園を合築する場合としない場合も事業費はほぼ同じ



こども園を合築する工法と合築しない工法とを比較した結果、事業費はほぼ同額となりました。合築することで、3階建てが4階建てとなり建築費は増えますが、仮設園舎や給食施設などの建設費用が不要となるためです。

メリットは他にもありますが、以上5点から田尻町では、一貫教育施設をこども園と一体化して建設を進めてまいります。今後、保護者の方はもとより町民の皆さまに丁寧に説明してまいります。どうかご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

報告④

町長等特別職の報酬額を改正しましたが、今任期中は現状のままです

特別職（町長、副町長、教育長）の報酬については、平成18年以来20年間改正されておらず、長年、府内町村平均額を大きく下回る状況が続いていました。昨今の物価高、賃上げ等の社会情勢に鑑み、令和7年、報酬審議会（学識及び町民代表から構成）に特別職と議員の報酬を諮問しました。

その結果、報酬審議会から「物価上昇率を参考に府内町村の平均程度にすべき（概略）」との答申を受け、3月議会において以下のとおり改正案を上程しました。ただし、私は退職金0（ゼロ）を公約に当選した経緯がありますので、この任期中に報酬が上がることは政策的に不釣り合いになりますので、この条例改正を次回改選後からの適用とする形で議会に上程し、原案のとおり可決されました。次回町長選挙は令和11年7月です。

	改正前	8年4月~	改選後~		改正前	8年4月~	9年5月~
町長	652,000	現状のまま	852,000	議長	314,000	330,000	369,000
副町長	617,000	現状のまま	725,000	副議長	276,000	300,000	325,000
教育長	563,000	現状のまま	662,000	議員	266,000	290,000	313,000

議員報酬も右上の表のとおり改定されました。

議員報酬は、平成24年以来14年間改正されていませんでした。審議会は、「府内町村の平均額に」と答申しましたが、紆余曲折の審議の末、人事院勧告（公務員賃金の指標）の率を採用し、本年4月から改正する案が可決されました。結果、議員報酬については、本年4月に上がり、来年5月の改選後に再度上がります。

報酬改正は、将来の議員のなり手不足や議会活性化のために審議しています。この4月から報酬額を上げるとは予想していませんでした。



令和8年度の主要施策を紹介します

- 防災・文化センター基本計画課題整理業務：建設に向け検討が再始動！（P1参照）
- 一貫教育施設整備基本計画策定業務：こども園を合築する方針で進めます（P2・3参照）
- 吉見ノ里駅アクセス道路整備事業：用地取得を着実に進めR11年にたじりっちバスの通過を
- こども園改修基本設計等業務委託：0～2歳児無償化を段階的に進めるための改修工事設計
- コミュニティバス運行ニーズ調査：なるべく早くたじりっちバスを泉南イオンまで
- プレミアム振興券事業：R8年は物価高騰対策として、1人2セットまで購入できます
- コミュニティ組織活性化事業：災害に強い、助け合いの各種活動を地域に根づかせます
- 救援物資等整備事業：医療救護用テント、可動式入浴施設を整備します
- 脳ドック助成事業：脳卒中を未然に防ぐため、40歳以上の高血圧の方等を対象に
- 子ども子育て支援拠点運営：4月にオープンしたHUGSURU（ハグスル）を人気施設に。
- 農業振興方策検討：農業と漁業を活かした観光まちづくり計画を策定します
- がんばる若者応援事業：育英奨学金給付、奨学金返還支援、夢サポート事業で若者応援
- 学びに向き合う子ども応援事業：小中学生に各種資格検定試験受験料を補助します
- 育サポChoice：18歳以下こどもに金芽米を定期的に。又はプレミアム振興券を3セット。
- たじりっちポイント事業：参加800人（人口の1割）目標。年間56,000円/人の医療費削減

町長と話そう!!

たじり懇談会を開催します

皆さまお誘い合わせの上
お集まりください

🕒 5月22日(金) 午後7時～
5月23日(土) 午前10時～

📍 田尻町立公民館 1階 ホール

令和8年度の町政と施策全般を
わかりやすくお話しします。
みなさんのお声を、ご意見を
お聞かせください。

山本かずおの
SNSです！

Follow
me

HP



INSTAGRAM



FACEBOOK



防災・子育て・教育・健康福祉・地域コミュニティ

8000人の大家族 5つのNO,1 (ナンバーワン)を進めます！